

御堂筋の夜の銀杏並木は光で輝き “夢の世界” の様です。

土曜日夜7時ごろ、タクシーに乗りました。夢の国に来た様な、御堂筋の美しく輝く銀杏並木を通りました。

「お客さん、窓を少し開けさせてください。大阪はウィルス感染者が増えて、連日200人を超えています。お客さんの中にも感染者が居ると思わねばなりません。新たなお客さんに感染させない、私も感染しないようにする、これは運転する者の努めです」と、丁寧に話してくれました。70歳と言う事でしたが、客の命、自分の命も護りたい！ 心に響く良い話でした。

欧州の国が翌日から「マスク無し罰金」の前夜、マスク無しで、大勢で飲み騒いでいる様子とは大違いです。

我が政府の旅、食のキャンペーンに、国民の心が緩み感染者が増えています。40代、50代の感染者が多い事に、何が問題か政府は気付かないでしょうね？

北海道旅行中の子供連れが「子供を久しぶりに楽しませたかった」と、TVインタビューに答えています。こうした自分勝手な人達の為、北海道は感染者の増大で苦しんでいます。

誰が、流行させたのでしょうか？ 何故子供たちに「我慢しよう」と言えないのですか？ 70歳代は「旅行代金ゼロ」でも旅行はしませんよ！ 一部不心得者は居ますが……。 「自分も感染したくない、家族にも感染さたくない」の想いが強いからです。

少しでも早く、COVID-19禍を終息させる事が大事であって、食事代、旅行代を政府が少々援助しても「助かる」のは一部業者だけです。それも一時的な事です。

卒直に言って菅内閣発足に期待していました。しかし、このところの、政策の小細工ばかりが目立つ失策に苛立ちます。小細工故の「国民に心の緩み」を与えたことは、政策の「大失敗」です。

首相は一国の将軍です。「専門家の意見を聞き」とばかり言わず。時には、国民に向けて、ご自身の決断振りを、毅然と示してください。

米国や欧州とは、日本人の自己管理能力・我慢度は格段に違うと思います。頼り無い将軍では国民が可哀そうです。

私の知っている代議士は全員、2万円の振込用紙と案内状を送って来ています。政治家の資金集めパーティは自粛が常識でしょう。自殺者も増加し国民が苦しんでいる時、余りにも無神経すぎます。

夢の国、御堂筋の話と「さすが日本人」のタクシードライバーの毅然とした話が、つまらない政治の話になり、自分でも嫌になります。